

薬剤  
感染制御，院内感染  
全身状態悪化，救急搬送  
転倒，転落，打撲  
歯科医療機器，材料，設備等の管理，  
監督  
診療録記載，管理  
歯科技工関連  
防災管理，火気取扱  
診療従事者管理  
において，  
受付，応対，接遇  
患者誤認  
口腔内への落下，誤飲，誤嚥  
歯や口腔，顎，顔面等の損傷  
衣服，所持品の汚染，破損，損傷  
神経麻痺等の合併症  
感染制御，院内感染  
全身状態悪化，救急搬送  
転倒，転落，打撲  
歯科医療機器，材料，設備等の管理，  
監督  
歯科技工関連  
，上記にあてはまる事例を作成した。  
本研究により作成された模擬事例の  
すべてが歯科診療所において特に注

意すべき内容であるだけでなく，決してあつてはならないような取違え事例なども含まれている。受付，応対，接遇，口腔内への落下，誤飲，誤嚥，歯科医療機器，材料，設備等の管理，監督，歯科技工関連等については特に高頻度でインシデントが発生しており，アンケート集計からも比較的高い評価を得たものと思われた。

調査協力歯科診療所におけるアンケート調査にて総合的に評価がおおむね良好であり，無床歯科診療所におけるインシデント模擬事例として，教育・研修に活用出来るものであることが示唆された。本研究班で作成したインシデント模擬事例や口腔内への落下，誤飲・誤嚥に関する歯科診療所における医療の質・安全関連情報（案）については，訪問歯科診療を含めた無床歯科診療所における事故防止に資するだけでなく，医療安全管理教育や研修に活用が出来るものであると考えられた。

今後，継続的な調査を推進し，医療法改正等に伴う事項についても順守しつつ，歯科診療所における恒常的な

医療安全管理の基盤構築の確立を目指してゆく必要がある。医療事故調査制度が施行され歯科診療所における医療安全管理の推進がより一層に求められている状況であるが、現状を踏まえて、

1. 訪問歯科診療等においては更なる調査研究が必要であること、
2. 恒常的な歯科診療所における医療安全管理の推進には小規模な無床診療所に特化した検討が必要であり、現時点で十分な組織的対応がなされているとは言い難いこと、
3. 以上より早急に本システムを国レベルで継続して運用する必要があること、等が示唆された。

#### E. 結論

恒常的な医療安全管理の確実な実施のために、歯科診療所に特化したインシデント等の効率的な情報収集・分析・提供のためのシステム開発を行った。

平成26年度においては訪問歯科診療を含む、歯科診療所に特化したインシデント報告システムを開発し、協力

の得られた歯科診療所にて運用を行い、試行運用期間1ヶ月間で85施設より302件のインシデント事例報告を得た。本システムはインターネットを介した簡便なシステムであり、調査協力機関からの情報送信ならびに調査協力機関への情報提供においては、連結不可能な匿名性を担保した状態で行うことが可能である

平成27年度は全国47都道府県に調査研究を拡充し、計1304件のインシデント事例報告を得た。本システムはインターネットを介した簡便なシステムであり、調査協力機関からの情報送信ならびに調査協力機関への情報提供においては、連結不可能な匿名性を担保した状態で行うことが可能であるだけでなく、インターネット接続下でリアルタイムに全国集計が共有できる仕様となっている。医療事故調査制度等、医療法改正等に伴う事項についても順守しつつ、研究の成果が大いに活用できる。

また、研究班にて作成したインシデント模擬事例については、調査協力歯科診療所におけるアンケート調査や

歯学部学生教育の評価がとても良好であった。

本模擬事例や口腔内への落下・誤飲・誤嚥に関する歯科診療所における医療の質・安全関連情報（案）については、訪問歯科診療を含めた無床歯科診療所における事故防止に資するだけでなく、医療安全管理教育や研修に活用が出来るものであると考えられた。

また、医療事故調査制度が施行される歯科診療所における医療安全管理の推進がより一層に求められている状況であるが、現状を踏まえて、

1. 訪問歯科診療等においては更なる調査研究が必要であること、

2. 恒常的な歯科診療所における医療安全管理の推進には小規模な無床診療所に特化した検討が必要であり、現時点で十分な組織的対応がなされているとは言い難いこと、

3. 以上より早急に本システムを国レベルで継続して運用する必要があること、等が示唆された。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1) 松本 勝洋, 宮本 智行, 灰田 悠, 深山 治久. 口蓋裂を伴ったStickler症候群の患児の周術期気道管理に配慮した1症例. 日本歯科麻酔学会雑誌. 42巻2号. P. 220-221. 2014.

2) 井上 卓俊, 宮本 智行, 深山 治久, 楠本 康香, 篠塚 修. Wiskotto-Alldrich症候群患者に対する歯科診療時の鎮静法による全身管理経. 日本歯科麻酔学会雑誌. 44巻1号. P. 17-19. 2016.

##### 2. 学会発表

1) 宮本智行, 三輪全三, 磯部隆史, 深山治久, 渋谷絹子, 足達淑子, 原澤秀樹, 倉林亨, 嶋田昌彦. 全職員を対象とした心肺蘇生研修会開催の試み. 第9回医療の質・安全学会. 幕張. 2014.

2) 宮本智行, 瀬古口精良, 溝渕健一, 松尾亮, 片山繁樹, 武藤智美, 中里茜, 笹井啓史, 森崎市治郎. 歯科診療

所におけるインシデント模擬事例の作成. 第9回医療の質・安全学会. 2014.

3) 松村 朋香, 宮本 智行, 深山 治久. 局所麻酔薬アレルギーが疑われた小児における局所麻酔薬の選択. 日本小児麻酔学会 第20回大会. 札幌. 2014.

4) 間宮 秀樹, 堀本 進, 和田 光利, 渡辺 真人, 榎本 雅宏, 藪内 貴章, 片山 正昭, 宮本 智行, 深山 治久, 鈴木 聡行. 市内2ヶ所目となる要介護高齢者歯科診療部門の開設 6ヵ月間の臨床統計. 一般社団法人日本老年歯科医学会 第25回 学術大会. 福岡. 2014.

5) 宮本 智行, 瀬古口 精良, 溝渕 健一, 松尾 亮, 片山 繁樹, 比嘉 良喬, 武藤 智美, 青山 政勝, 笹井 啓史, 森崎市治郎. 歯科診療所におけるインシデント等の医療安全に関連する情報収集ならびに共有の促進. 第10回医療の質・安全学会. 幕張. 2015.

6) 間宮 秀樹, 深山 治久, 宮本 智行, 脇田 亮, 堀本 進, 榎本 雅宏, 和田 光利, 渡辺 真人, 片山 正昭, 鈴木 聡行. 歯科治療中に「要観察」

事象が認められた要介護高齢者症例の検討. 第26回日本老年歯科医学会総会・学術大会. 2015.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許所得

なし.

2. 実用新案登録

なし.

その他

なし.

(資料1) 本研究班によるインシデント等医療安全関連情報収集システム作成に関連する資料

【別添資料】

IncRep（開発予定概要）

～歯科診療所に特化したインシデント\*収集アプリケーションソフトウェア～

- 本ソフトウェアは、歯科診療所に特化したインシデント収集ソフトウェアとして開発予定である。
- 左欄のカレンダーを、右欄に事例入力項目を配置し、受付・応対、検査・診断、インフォームドコンセント、診療（処置・手術）、診療（その他）、その他の項目について、簡便にインシデント情報を記録することが出来る仕様とする。
- 診療日毎に、一カ月間にわたり本ソフトウェアにて入力し、翌月にインターネットを経由して情報を送信する。
- データ送信においては暗号化通信機能を有し、連結不可能匿名性を担保する。
- 月毎に集計結果を、グラフ化する機能を有している。

The screenshot shows the IncRep web application interface. At the top, there's a navigation bar with buttons for '設定' (Settings), '送信' (Send), '印刷' (Print), 'グラフ' (Graph), and '終了' (End). Below the navigation bar, there's a calendar for April 2014. The 20th is highlighted. To the right of the calendar, there's a section titled '2014年04月20日の発生状況 (合計: 0件)' (Incident occurrence status for April 20, 2014 (Total: 0 cases)). This section lists various incident categories with their respective counts and expandable arrows:

- 受付・応対 (0件): 1.受付・応対・接遇、2-1.患者様に対して、2-2.医療従事者等に対し...
- 検査・診断 (0件): 3.検査・エックス線写真 ～ 5.診断関連
- インフォームドコンセント (0件): 6.インフォームドコンセント、7.患者(家族)等とのトラブル、院内暴力
- 診療(処置・手術) (0件): 8.口腔内への落下... ～ 15.処置、手術に関連したその他の有害事象
- 診療(その他) (0件): 16.薬剤、17.感染制御、院内感染 ～ 19.転倒・転落、打撲
- 施設管理 (0件): 20.医療機器・材料、設備等の管理・監督 ～ 24.診療従事者管理
- その他 (0件): 30.その他

At the bottom of the interface, there are checkboxes for '翌月以降に送信可能です' (Can be sent from next month onwards), 'ファックス、郵送により送信済み?' (Sent by fax/post?), '先月分の未送信レポートがありませんか?' (Do you have any unsubmitted reports for last month?), and 'この日のインシデント発生状況は確認済み?' (Have you confirmed the incident occurrence status for this day?).

\* ここで記述した「インシデント」とは、ヒヤリ・ハット、ニアミス、アクシデント、有害事象等を含むものとする。

《ソフト開発担当・分担研究者》

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 助教  
 宮本 智行

# 平成26年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業 歯科診療所における恒常的な医療安全管理の基盤構築に関する研究

IncRep - 歯科医療安全管理 インシデントレポートアプリケーション version -

IncRep Incident Reporting Application

設定 送信 印刷 グラフ 終了

◀ 前月 2014年 4月 翌月 ▶

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

☑:事例登録有り

翌月以降に送信可能です

ファックス、郵送により送信済み ②

先月分の未送信レポートがありませんか?

## 2014年04月20日の発生状況 (合計: 0件)

- 受付・応対** 0件 >

1.受付・応対・接遇、2-1.患者様に対して、2-2.医療従事者等に対し...
- 検査・診断** 0件 >

3.検査・エックス線写真 ~ 5.診断関連
- インフォームドコンセント** 0件 >

6.インフォームドコンセント、7.患者(家族)等とのトラブル、院内暴力
- 診療(処置・手術)** 0件 >

8.口腔内への落下... ~ 15.処置、手術に関連したその他の有害事象
- 診療(その他)** 0件 >

16.薬剤、17.感染制御、院内感染 ~ 19.転倒・転落、打撲
- 施設管理** 0件 >

20.医療機器・材料、設備等の管理・監督 ~ 24.診療従事者管理
- その他** 0件 >

30.その他

この日のインシデント発生状況は確認済み ②

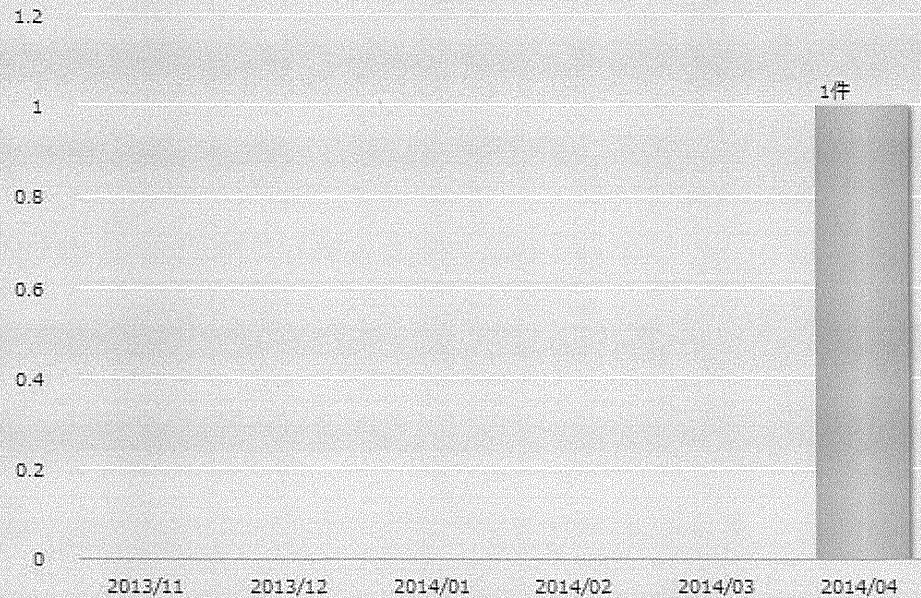


# グラフ表示のイメージ

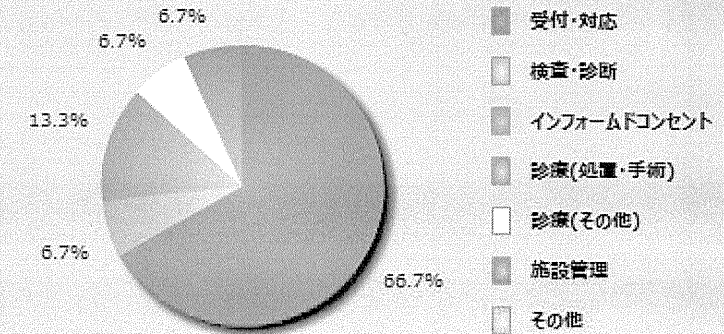
## インシデント事例 発生状況のグラフ表示

### 月別発生件数の推移

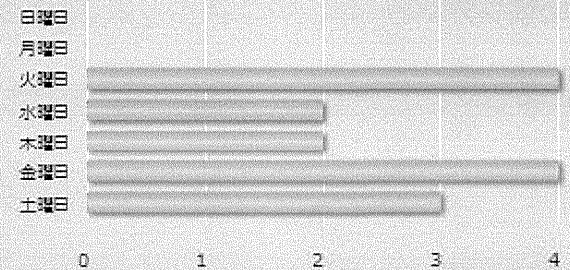
2014 年 4 月から過去 6 カ月を 表示する



### 事例の内訳(全15件)



### 曜日別発生件数(全15件)



グラフにマウスカーソルを重ねると件数を表示します

クリックするとメイン画面に戻ります





No.	項目	H22年度版 IncRep	共同行動・登録画面	H26年度版 IncRep	回答の選択肢	デフォルト値	必須	備考
01	モデル施設タイプ	○		-	1.歯科診療所 2.大学附属病院 3.歯科口腔外科等 総合病院歯科 4.障害者歯科専門等 歯科診療所	-	-	No.15にて実現
02	スタッフ数(Dr)	○		-	人数の入力	-	-	No.35 - 43にて実現
03	スタッフ数(DH)	○		-	同上	-	-	同上
04	スタッフ数(DA)	○		-	同上	-	-	同上
05	スタッフ数(その他スタッフ)	○		-	同上	-	-	同上
06	チェア数	○		-	保有台数の入力	-	-	
07	診療曜日(月火水金土)	○		○	診療日をチェック(1.月2.火 3.水 4.木 5.金 6.土 7.日)	12356	○	複数選択可能
08	診療開始時間	○		○	時間を入力	9:00	○	
09	診療終了時間	○		○	同上	18:00	○	
10	都道府県コード	○		○	都道府県を選択	東京	○	
11	協力型臨床研修施設?	○		-	該当⇒1 該当しない⇒0	-	-	不要
12	訪問歯科診療?	○		-	実施している⇒1 実施していない⇒0	-	-	No.33にて実現
13	開業年数(任意)	○		○	数値を入力 ⇒ 年数のレンジを選択	5年未満	○	
14	院長の年齢(任意)	○		○	数値を入力 ⇒ 年代を選択	40代	○	
15	施設の区分		○	○	1.診療所 2.病院歯科	-	○	
16	標榜科目		○	○	1.歯科 2.矯正歯科 3.小児歯科 4.歯科口腔外科	-	○	複数選択可能
17	処方の状況		○	○	1.院内 2.一部院外 3.全て院外	-	○	
委託の状況								
18	技工物		○	○	1.全部委託(院内) 2.全部委託(院外) 3.一部委託(院内) 4.一部委託(院外) 5.委託していない	1	○	
19	滅菌(治療用具)		○	○	同上	1	○	
20	保守点検業務(医療機器)		○	○	同上	1	○	
21	感染性廃棄物処理		○	○	1.全部委託 2.一部委託 3.委託していない	1	○	
22	清掃		○	○	同上	1	○	
医療安全体制(責任者配置)								
23	医療安全体制(全般)		○	○	1.歯科医師 2.歯科衛生士 3.その他 4.配置していない	1	○	
24	院内感染防止対策		○	○	同上	1	○	
25	医療機器安全管理		○	○	1.歯科医師 2.歯科衛生士 3.その他	1	○	
26	医薬品安全管理		○	○	同上	1	○	
歯科設備								
27	歯科診療台		○	○	保有台数の入力	3	○	
28	デンタルX線装置		○	○	有無⇒保有台数の入力	0	○	0⇒無
29	パノラマX線装置		○	○	同上	0	○	同上
30	ポータブル歯科ユニット		○	○	同上	0	○	同上
31	オートクレーブ		○	○	同上	0	○	同上
32	吸入鎮静装置		○	○	同上	0	○	同上
在宅医療サービスの実施								
33	訪問診療実施の有無		○	○	有⇒1, 無⇒0	0	○	
34	在宅療養支援歯科診療所の届出		○	○	同上	0	任意	
従業者数								
35	歯科医師(常勤)		○	○	人数の入力	1	○	
36	歯科医師(非常勤)		○	○	同上	0	○	
37	歯科衛生士(常勤)		○	○	同上	0	○	
38	歯科衛生士(非常勤)		○	○	同上	0	○	
39	歯科技工士(常勤)		○	○	同上	0	○	
40	歯科技工士(非常勤)		○	○	同上	0	○	
41	看護師		○	○	同上	0	○	
42	歯科業務補助者		○	○	同上	0	○	
43	その他の職員		○	○	同上	0	○	
44	歯科医師臨床研修施設の指定		○	○	有⇒1, 無⇒0	-	○	
45	歯科外来診療環境体制加算の届出		○	○	有⇒1, 無⇒0	-	○	

(資料2) 研究協力関連資料

平成26年度厚生労働科学研究事業  
「歯科診療所における恒常的な医療安全管理の基盤構築に関する研究」  
10拠点歯科医師会への説明会

平成26年7月31日(木)午後2時～4時  
東京都歯科医師会3階第1会議室

東京医科歯科大学

宮本智行

## 研究の目的

- 本研究の目的は、歯科診療所における安全確保を最終目的とし、歯科診療所におけるインシデント等の効率的な情報収集・分析・提供およびその活用のあり方を検討し、我が国のいかなる規模・形態の歯科診療所においても恒常的に医療安全管理を実施可能なシステムの構築を目指す。

## 必要性及び特色・独創的な点 1

- 我が国の歯科医療の中心を担う6万8千超の無床歯科診療所は小規模・個人立であり、医療法施行規則に定める医療事故情報収集事業においても歯科診療所におけるインシデント等の情報は収集されにくい環境にある。
- しかしながら、歯科においてもインシデント等を収集・分析し、歯科医療従事者に対し情報を提供し、その情報を臨床現場で共有し、医療の安全を高めてゆく必要がある。
- 森崎、宮本らが行なった平成21年度厚生労働科学研究では、歯科に特化した収集様式を開発し多施設の協力の下総計27,857件の報告を得ており、その内容は、歯冠修復補綴物等の口腔内への落下、誤飲・誤嚥等に関するものなどがあり、その内容の分析結果には安全管理に資する情報が多く存在していることが判った。

## 必要性及び特色・独創的な点 2

- 現在、口腔機能の低下した高齢者等に対する安全管理の重要性が高まっているにもかかわらず歯科分野では情報収集過程における課題があり、国レベルにおいても実態把握が困難な状況にある。
- 本研究の特徴は、全国規模で医療事故等の情報を持続的に収集・分析・提供することが実施可能となるよう、公益社団法人日本歯科医師会等と連携し、訪問歯科診療を含む様々な歯科診療行為におけるインシデント等の収集・分析・提供のためのモデルシステムを構築するために、第一に全国的な規模での収集・分析・提供に関する試行を実施し、第二にインターネット等を活用した歯科診療所におけるインシデント収集・分析・提供のあり方を検討し、恒常的に医療安全管理の基盤構築を強化するシステム構築を目指す。
- さらに歯科医療における自律的な事故防止体制強化のための検討を行う。

## 研究計画・方法

- 本研究は、歯科診療所におけるインシデント等の実態調査を継続的に実施し、要因分析・検討を行なうことで患者中心の医療安全構築のための情報共有のあり方を検討する。
- 公益社団法人日本歯科医師会や日本歯科衛生士会等とも連携し、訪問歯科診療等も含めた歯科診療所におけるインシデント等の収集・分析・提供のためのモデルシステムを携帯型端末およびインターネット等を活用して構築するとともにモデル事業を実施し、我が国のいかなる規模・形態の歯科診療所においても院内感染対策等も含めた恒常的な安全管理を実践出来る基盤構築を、地域歯科医療の実態に即し目指すものである。

## 平成26年度

- ① 歯科診療所におけるインシデント等医療安全関連情報収集システムの改良
- ② 全国的規模でのモデル組織構築ならびにサンプル調査(第一次)
- ③ モデル組織における要因分析、医療安全管理体制等に関する基礎調査ならびにヒヤリング実施
- ④ 全国的規模でのモデル組織におけるサンプル調査(第二次)
- ⑤ 歯科診療所に特化した医療安全関連情報収集・共有システム(仮版)の作成

### 歯科診療所におけるインシデント等医療安全関連情報収集システムの改良1

- 我々が先行研究で開発したインターネットを介した情報収集システムは、歯科診療所に特化した25のインシデント事例分類項目を簡便に報告・収集できるものであるが、診療所内での活用を前提に開発がなされていた。
- 情報登録を容易にするための携帯型端末等への応用を可能とし、訪問歯科診療等多種歯科診療形態においても活用できるようなシステム改良を行う。
- 情報セキュリティ強化のために本研究参画の歯科診療所等に対しては、自由記載欄に患者の個人情報あるいは事故当事者の個人情報を入力しないように徹底することを、事前に説明することとし、インシデント等の報告システムの設計においては、入力者が自由記載欄に仮に入力したとしても、そのままではデータは送信されない設計とする。

### 歯科診療所におけるインシデント等医療安全関連情報収集システムの改良2

- 自由記載欄に記載された内容については、研究協力の歯科診療所等の責任者が内容を確認してから送信する仕様とし、データ送信時に確認ボタンを設けるだけでなく、月に一度、一回のみの制限とする。
- 通信はインターネットを介した暗号化による通信 (Secure Socket Layer、以下SSL) とし、専用の外部サーバーに蓄積する。
- 本システムを運用する上で、仮に入力者が自由記載欄に個人情報を入力したとしても、その段階では研究協力機関のパーソナルコンピューター内に記録されるのみで送信はされない仕様とする。
- 本ソフトウェアには連結不可能な匿名化処理を行うために発信元を入力する項目は無く、さらに蓄積されたデータを解読し所属歯科医師会のほうでも都道府県毎にランダム化処理を行ってから研究者に配信する様式とする。

### 全国的規模でのモデル組織構築ならびにサンプル調査(第一次)

- 全国的規模(10地区×10歯科診療所、計100か所程度無作為抽出)でのモデル診療所によるネットワークの構築を行う。厚生労働省[臨床研究に関する倫理指針]、公益社団法人日本歯科医師会「歯科医師の職業倫理」等を遵守し、研究協力を依頼する歯科診療所等においては、本研究班の研究者が本研究に関する倫理等を含めて、必ず事前に説明を行う。
- 対象施設への説明後、インシデント等の収集を改良したシステムを用いて、端末操作シミュレーション後に数カ月間の試行を実施する。調査参加歯科診療所においては、本ソフトウェアをインストールし、起動時に歯科診療所の基本情報として、診療所所在地(47都道府県)、診療従事者(歯科医師数、歯科衛生士数、歯科技工士数など)の構成、ならびに施設規模(ユニット数、エックス線写真撮影装置などの医療機器設置数など)等を入力する。
- その後に、診療日毎に下記の分類項目に従ったインシデント件数および内容を入力する。データの収集においては翌月にインターネットを介してSSL通信にて、各調査協力診療機関から送信していただくこととする。

## 平成27年度

- ① 全国的規模での実態調査ならびにデータ解析
- ② 歯科診療所に特化した医療安全関連情報収集・共有システム(仮版)の運用および改良
- ③ 歯科診療所における恒常的な安全管理の基盤構築のモデル作成



## 倫理面への配慮

本研究は臨床研究に関する倫理指針(平成20年7月31日全部改正、平成20年度厚生労働省告示第415号)疫学研究に関する倫理指針(平成20年12月1日一部改正、文部科学省・厚生労働省告示)などに準じ、大阪大学ならびに東京医科歯科大学歯学系倫理審査委員会の臨床研究に関する倫理規定等、研究者の所属する研究機関の倫理規定等に遵守して行われます。

患者のみならず、事故当事者の人権保護のため、個人情報はずべて連結不可能な匿名化にて処理されます。

パーソナルコンピューター等で管理された情報に関しては、特に情報の漏洩が絶対起こらないように、本研究におけるプライバシーポリシーを遵守し、十分な注意を払い、関連研究者に徹底します。

データ保存・管理には細心の注意を払い、データの内容等については個人が持ち出さないようにし、すべて研究班の管理とします。

歯科医療機関から報告された有害事象や患者相談などの医療事故等の各事例内容等についての公表は本研究の趣旨からは外れるため、一切行いません。

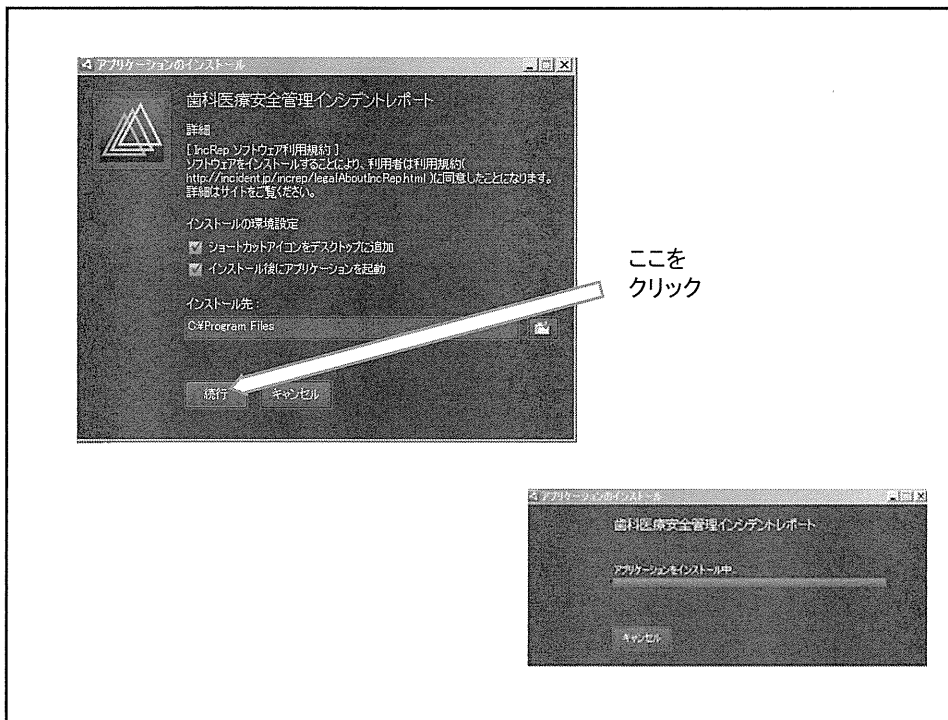
## ソフトウェアのインストール

研究参画歯科診療機関の選定終了

⇒各都道府県担当者は分担研究者・宮本まで連絡

各歯科診療機関において、インターネット接続し、本ソフトをダウンロードおよびインストールする





## 先ず、初期設定をおこないます

IncRep - 歯科医療安全管理 インシデントレポートアプリケーション version 0.00 Pre-Alpha

2014年 7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2014年07月30日の発生状況 (合計: 0件)

受付・応対	0件
検査・診断	0件
インフォームドコンセント	0件
診療(処置・手術)	0件
診療(その他)	0件
施設管理	0件
その他	0件

1/9

1/9

はじめの設定 ●○○○○○○○○

施設について教えてください

施設の区分

診療所

病院歯科

標榜科目

歯科  矯正歯科  小児歯科

歯科口腔外科

処方の状況

院内

一部院外

全て院外

次へ

2/9

はじめの設定 ○●○○○○○○○ ×

施設について教えてください

施設の所在地 ②

東京都 ▾

開業年数 ②

30年以上 ▾

院長の年齢 ②

40代 ▾

戻る 次へ

3/9

はじめの設定 ○●○○○○○○○ ×

施設の診療日時を教えてください

診療曜日 ②

月 火 水 木 金

土 日

診療時間 ②

開始時間 09 ▾ : 00 ▾

終了時間 18 ▾ : 00 ▾

戻る 次へ

4/9

はじめの設定 ○○○○●○○○○

スタッフ構成について教えてください

	常勤	非常勤
歯科医師②	4	1
歯科衛生士②	3	4
歯科技工士②	1	0
看護師②	1	
歯科業務補助者②	3	
その他スタッフ②	3	

戻る 次へ

5/9

はじめの設定 ○○○○●○○○○

設備について教えてください

歯科診療台②	3
デンタルX線装置②	0
パノラマX線装置②	0
X線CT診断装置②	0
ポータブル歯科ユニット②	0
オートクレープ②	0
吸入鎮静装置②	0

戻る 次へ